

SONESTA チェア P モデル

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



2. 寸法等 (P3)

全長：143cm (エクステンションクッションなし)
全幅：69cm
最大耐荷重：210kg

3. 電氣的定格

定格電源電圧：100V/120V/230V
定格電源周波数：50/60 Hz
定格入力：430VA
電撃に対する保護の形式：クラス I 機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類：B 型装着部
水の有害な浸入に対する保護の程度の分類：IPX6

4. 原理

診療・処置時に診療室又は手術室において用いられる。コントローラまたはハンドル等を用いて電動又は手動により昇降および傾斜等の角度の調節が可能であり、診断・処置時の患者の姿勢を保持する。

【使用目的又は効果】

診療または処置のために患者の姿勢を保持する。

【使用方法等】

1. 使用方法

- (1) 本装置のシートクッションが最低位に配置されていることを確認する。
- (2) 患者を本装置に座らせる。
- (3) 必要に応じコントローラを用いて背もたれクッション、シートクッションの昇降および傾斜等の角度の調節を行い、患者の姿勢を調整する。
- (4) 診療または診断を行う。
- (5) 本装置を最低位に戻す。
- (6) 患者を立ち上がらせる。
- (7) 本装置をクリーニング・点検し次の使用に備える。

2. 使用方法に関連する使用上の注意

- ・チェアを操作している際に、機器の隙間などに電源コードが挟まれないようにすること。電源コードが挟まれると、機器が損傷するおそれがある。
- ・チェアの位置を変える際には、手足および機器がフレームアセンブリから離れていることを確認すること。
- ・運搬のとき以外は必ずブレーキをかけ、かけた後は安定性を確認すること。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ・患者がフットレストやエクステンションクッション（オプション）の上に立つことがないようにすること。チェアが不安定になって傾くおそれがあり、怪我につながる危険性がある。フットレストに立った状態での耐荷重は 50kg である。エクステンションクッションは、診断の際に患者の足を乗せることのみを想定して設計されている。エクステンションクッションは、チェアに座る際と立ち上がる際には絶対に使用しないこと。
- ・患者がフットレストに足を乗せながらチェアに座ることがないようにすること。椅子が転倒するおそれがあり、患者の怪我につながる危険性がある。
- ・本装置は侵襲性外科手術の際に使用することを想定していない。
- ・本装置は患者の輸送に使用することを想定していない。
- ・本装置は可燃性麻酔ガスを用いる医療行為での使用を想定していない。爆発するおそれがあり、人体への傷害や機器への損傷につながる危険性がある。
- ・EN 60601-1 および EN 60601-1-2 に準拠した医療機器以外とは併用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

保管の条件

温度範囲：-10℃～+50℃
湿度範囲：10%～80%RH (@30℃、結露なし)
大気圧：700hPa～1060hPa

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

- ・週に 1 度、正常に作動するか機器をテストし、ケーブルの断線やその他の損傷がないか検査すること。

2. 装置のクリーニング

- ・定期的にクリーニングすること。
- ・患者が使用した後は必ず表面を拭くこと。必ずクッションシートを取り外しクッションシートの下側の面と裏面を拭くこと。
- ・湿らせた布と通常の消毒剤でチェアをクリーニングすること。定められた手順に従ってチェアの表面から体液を除去すること。
- ・チェア表面の消毒には入手可能な消毒剤に 1:10 希釈の漂白剤 (5.25% 次亜塩素酸ナトリウム) を入れて使用すること。
- ・チェアを使用した後のクリーニングが不適切であったり、クリーニングを行わないと、腐食の発生など外観や性能が損なわれる原因となる。
- ・ヨードフォア消毒剤 (イソジンなど) を使用するとクッションに色移りする可能性がある。
- ・不適切な希釈率で漂白剤溶液を混ぜた洗浄剤に長時間触れたままにすると、外観と性能の両方を損ねるおそれがある。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

エダップテクノメド株式会社
TEL: 03-5540-6767